



# グリーン ファクトリー

第104号

2009年  
1月28日(水)

新日本石油精製株式会社 根岸製油所

〒235-0006 横浜市磯子区鳳町1-1 電話045-757-7111(代)

<http://www.eneos.co.jp/company/about/gaiyou/jigyousho/negishi/index.html>

## 製油所の防災設備と防災体制

当所では多くの危険物（油、ガスなど）を製造、保管、出荷しているため、それぞれの設備について定期的に点検を実施して、設備の健全性を確認し、油の漏洩などが発生しないように努めています。

また、防災設備の充実を図るとともに、万一の災害に備え、日頃から当所社員および協力会社社員による緊急時の対応訓練を行い、防災対応力の向上に努めています。



大型化学消防車等による放水

### 防災設備

#### 1. 消火設備

- ① 消防自動車7台配置（横浜市内最大規模）
- ② 普通泡放射砲配置（能力5,700リットル/分）
- ③ 固定泡消火設備、水幕設備 など

#### 2. 油漏洩対策

- ① 製油所敷地の勾配（海側に傾斜）
- ② タンク周辺に防油堤/流出油防止堤
- ③ 消防艇、油回収船配備 など



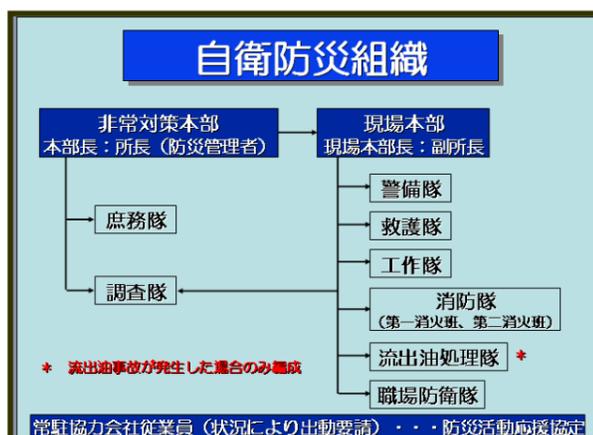
水幕設備

### 防災体制

#### 1. 自衛防災組織 右図のとおり

#### 2. 主な防災訓練

- ① 当直者訓練：毎日
- ② 総合防災訓練：年2～3回
- ③ 消火訓練：年1回（※全社員、協力会社員対象）



## 広域共同防災組織が設立されました

◆2003年9月に発生した北海道十勝沖地震による大型タンク火災事故を契機に、石油コンビナート等災害防止法が改正され、2008年11月末日までに、全国に広域共同防災組織を設立して、大型タンク火災の消火が可能な大容量泡放水砲等の配備が義務付けられました。

◆広域共同防災組織の設立に伴い、当所は大容量泡放水砲等の配備事業所となり、昨年11月末に配備が完了しました。

#### 1. 広域共同防災組織

大型の浮屋根式タンク（直径34m以上）を有する事業所を全国12ブロックに分けて、ブロックごとに広域共同防災組織が設立されます。

#### 2. 当該組織の概要

当所は、神奈川・静岡ブロックの広域共同防災組織に加入し、防災機材の配備事業所となりました。

##### (1) 対象事業所

7社 11事業所  
（神奈川県：10事業所、静岡県：1事業所）

##### (2) 対象となるタンク

ブロック全体：125基  
（※当所のタンク：35基を含む）

##### (3) 防災体制

#### ■ 大容量泡放水システム

放水量：最大5万リットル/分

※大型化学消防自動車約17台分に相当。  
（泡放水砲2.5万リットル/分×2基）

#### ■ 防災員

22名



12月25日実施の放水テスト状況

